

平成 17 年 10 月 17 日

各 位

会社名 ア ッ ギ 株 式 会 社  
代表者名 代表取締役社長 岡 安 清 友  
(コード番号：3529 東証、大証各第1部)  
問合わせ先 常務取締役 藤 本 義 治  
(TEL 046-235-8111)

業績予想の修正および特別損失の計上に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 17 年 5 月 20 日の決算発表時に公表した業績予想の修正および特別損失の計上についてお知らせいたします。

記

1. 平成 18 年 3 月期中間業績予想の修正(平成 17 年 4 月 1 日～平成 17 年 9 月 30 日)

(1) 連 結

(単位：百万円、%)

	売 上 高	経 常 利 益	中 間 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A) (平成 17 年 5 月 20 日発表)	1 2 , 8 5 0	6 2 0	5 7 0
今 回 修 正 予 想 (B)	1 2 , 0 9 0	9 2 0	8 8 0
増 減 額(B - A)	7 6 0	3 0 0	3 1 0
増 減 率 (%)	5 . 9	4 8 . 4	5 4 . 4
前 期 (平成 16 年 9 月中間期) 実 績	1 2 , 9 4 1	4 0 7	4 0 1

(2) 単 独

(単位：百万円、%)

	売 上 高	経 常 利 益	中 間 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A) (平成 17 年 5 月 20 日発表)	1 2 , 7 0 0	4 0 0	3 5 0
今 回 修 正 予 想 (B)	1 1 , 9 4 0	7 1 0	6 0 0
増 減 額(B - A)	7 6 0	3 1 0	2 5 0
増 減 率 (%)	6 . 0	7 7 . 5	7 1 . 4
前 期 (平成 16 年 9 月中間期) 実 績	1 2 , 7 9 6	4 0 5	3 9 1

2. 修 正 理 由

中間期の売上高は個人消費の低迷等により、連結、単独ともに当初予想を下回りますが、利益面につきましては、海外生産比率が高まったことと、販売管理費の減少および為替差益等により、連結、単独ともに経常利益および中間純利益は当初予想を上回る見込みであります。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

なお、通期の業績予想については、現在精査中でありますので中間決算発表時(平成 17 年 11 月 18 日)に公表する予定であります。

### 3.特別損失の計上について

#### 連 結

平成 17 年 7 月 25 日既報の減損損失 2,224 百万円に加え、工場統廃合等の合理化により遊休となった土地の減損損失 60 百万円、余剰、遊休設備の除却損失等 1,978 百万円により、合計 4,262 百万円の特別損失を計上いたします。

#### 単 独

減損損失 2,160 百万円（平成 17 年 7 月 25 日既報の連結減損損失 2,224 百万円の内数）に加え、工場統廃合等の合理化により遊休となった土地の減損損失 60 百万円、余剰、遊休設備の除却損失 1,202 百万円、関係会社支援損失 941 百万円により、合計 4,363 百万円の特別損失を計上いたします。

なお、平成 17 年 4 月 22 日既報の厚生年金基金の解散等による特別利益を単独で 4,399 百万円、連結で 4,372 百万円計上いたしますので、今回の特別損失計上による業績に与える影響はありません。

以 上